

年 組 名前：

「移動式食堂」派遣始まる

富士川町で県 高齢者の交流促進



県は15日、1人暮らしの高齢者の孤立防止と健康維持を目的に、キッチンカーを活用した「移動式地域食堂」のモデル事業を始めた。対象は富士川、昭和両町で、初回となつた富士川町では、同日午前中から高齢者が訪れ、料理を味わい交流した。
 15日は、富士川町青柳町の青柳町公民館に民間事業者が運営するキッチンカー1台を派遣。午前10時から「豚汁うどん」や豚汁、カレーパン、揚げ餅などの品を販売した。特に「豚汁うどん」が人気で、高齢者らはキッチンカーから料理が入った容器を受け取る。
 と、公民館で団らんのひとときを過ごしながら、おいしそうに味わつた。公民館内に、血圧測定やフレイルチェックなどができるコーナーが設けられ、保健師が健康相談に応じた。県によると、モデル事業は6月30日まで。富士川町では

第1、第3木曜日の午前10時から午後3時まで青柳町公民館で実施。次回は例外的に1月24日に同町鍬沢の町営駐車場（午前10時から午後3時まで）で行う。昭和町では、第2、第4火曜日に午前10時から午後3時まで、同町西条の西条一区第一公民館で行う。昭和町の初回は27日を予定している。モデル事業では、キッチンカーによる食事の提供と保健師による健康相談のほか、今後は、大学生との世代間交流についても不定期で実施するという。

県健康長寿推進課によると、県内の1人暮らし高齢者は高齢者人口の26・7%に達し、孤食や社会的孤立が課題となつて。モデル事業を通して、食をきっかけにした居場所づくりと健康支援を両立して進める方針。県は効果を検証し、結果を全市町村と共有する。将来的には市町村での事業展開を想定している。

（2026年1月16日付 山梨日日新聞18面）

問1 県が、キッチンカーを活用した「移動式地域食堂」のモデル事業を始めた目的を、答えてください。

問2 モデル事業では、食事の提供以外に、なにを行っていますか。また、今後は、なにを行う予定ですか。

・食事以外に：

・今後の予定：

問3 1人暮らし高齢者が増加しています。どのような取り組みをすればよいと、あなたは考えますか。